



青い鳥

社会福祉法人
東京ヘレン・ケラー協会
Established in 1950

発行人 三浦 拓也
編集人 石原 尚樹
発行 広報委員会

充実した演習も研修の大きな特色だ



ガイヘル 養成研修

協会の重要事業に

「正しいガイド」心掛け9年

協会が平成16年11月から取り組んでいる視覚障害者ガイドヘルパー養成研修事業(ガイヘル研修)は今年9年目を迎えた。事業は順調に発展し、講習修了者が千名を超えている。24年度は当初の予定より1回増やし7回実施した。25年度は9回の開催を予定している。全国各地から受講希望の問い合わせも相次ぎ、他の事業者から無視できない存在となっている。協会の重要事業に成長したガイヘル研修を当初から担当してきた田村芳雄職員に振り返ってもらった。

平成16年4月、当時の堀込藤一理事長から「東京都の提案もあり、ガイヘル研修を立ち上げたい。担当してほしい」と頼まれたのがきっかけだった。定款の変更や審査など東京都との交渉、カリキュラムの作り方、講師の選定など分からないことばかりで、右往左往の連続だった。

そんな時に東京都心身障害者福祉センターに勤務されていた村上琢磨氏(現NPO法人視覚障害者支援しろがめ代表)からかかってきた一本の電話が、養成研修への取り組みに大きな指針となった。「しっかりと研修をして、いいガイ

ドヘルパーを養成したい。視覚障害者が社会で自立するときには困らないように応援したい」という強い気持ちを抱かせていただいたことに感謝している。当初の研修は20時間研修だったが、平成23年10月より「移動介護」から「同行援護」に制度が大きく変わり、内容も一変した。

以前に修了して活動していたガイドヘルパーにも、「同行援護」に対応する力を付けるため、もう一度受講してもらう必要があったのである。制度の移行期で様々な過渡的措置が認められており、当協会の養成研修事業も既修了者への対応をいろいろ検討した。

の混乱が発生し、ガイヘル研修の先駆である協会には相談や問い合わせの電話が殺到した。時には自治体や社協からも質問があり、これに答えるためには自分自身が勉強しなければならぬ。おかげでこの制度を誰よりもしっかりと把握できたと思っている。

過渡期に既修了者向けに実施した7時間講習や12時間講習は結局中止した。これは「既修了した者の中にはノウハウを忘れていく人が多く、きちんと32時間講習を受け直さなければ、本来の意味での利用者サービスに繋がらない」と考えたからである。講師の質を問わない粗悪な研修でオーライとしている事業所もあると聞いているが、実施要綱通りであったとしても、それが「正しい」研修ではないことを実感している。

当協会のガイヘル研修の成功を聞いて、新たに参入を図っている事業所もあるようだ。多くの事業所が切磋琢磨し、利用者の信頼を得て、正しいガイドができるヘルパーがたくさん誕生することには喜ばしいが、当協会の講師の質や講義・演習内容には自信があるので、一層内容を工夫して先頭を切って走り続けたい。

卒業おめでとう 新たな道へ挑戦

平成24年度 ヘレン・ケラー学院卒業式

平成24年度ヘレン・ケラー学院卒業式・修了式は3月15日同学院講堂で行われた。24年度の卒業生は5年課程3人。これに5年課程あん摩マッサージ指圧科修了生8人が加わり、計11名に三浦学院長から卒業証書、修了証書が授与された＝写真。また、1年間を通じた学業成績優秀者に贈る優等賞は11人、努力賞は1人が受賞した。

卒業生代表は「戸惑いながらも仲間と学んできた日々が懐かしく思い出されます。信頼できる友、築き上げた人間関係を大切に、新たな道に挑戦します」と答辞を述べ、震災復興支援ソング「花は咲く」のピアノメロディーと全員の拍手で卒業生を送り出した。



ヘレン・ケラー学院は4月5日、同学院講堂で平成25年度入学式及び始業式を行った。今年度の入学者は高等課程1人、専門課程2人の計3人。新入生代表が「諸先生、諸先輩から多くのことを学び社会人としてしっかり自立します」と誓いの言葉を述べた＝写真。

三浦学院長は訓示で「これから厳しい学生生活が待ち受けている。新しい人生を切り開くために入学したみなさんは所期の目的のために努力を続けてほしい」と激励した。

3人の同級生が誕生

25年度入学式



国家試験

頑張った人が報われた！

2月23、24の両日、第21回あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師国家試験が行われ、ヘレン・ケラー学院から既卒者を含め9人があん摩マッサージ指圧師を、既卒者を含め6人がはり師及びきゆう師を受験し、あん摩マッサージ指圧師は既卒者を含め8人(現役合格率88%)が、はり師及びきゆう師は既卒者を含め5人(現役合格率100%)がそれぞれ合格した。

平成24年度事業報告

【ヘレン・ケラー学院】

10名の新生が入学し、学生総数35名で新学期を迎えたが、病気による死亡や就職で各1名、出席日数不足で2名が中途退学した。卒業生・修了生は11名。第21回国家試験では、あん摩マッサージ指圧師に現役8名が受験し7名が合格した。はり師、きゅう師は各3名が受験し全員合格した。合格率は90%を超え、全国平均より高く素晴らしい成績だった。

【点字図書館】

昨年度の自館製作図書は、難易度の高い医学書など専門書に注力したため、前年度より点字図書が5%、デージー図書が7%減少した。貸出数では、点字図書が8.4%、テープ図書は4.5%減少したが、デージー図書は相互貸借図書の利用が促進されことによって前年より9.5%増加した。視覚障害者への点字指導は、通常講座は132回行い、延べ171人が受講した。パソコン講習も110人が受講するなど点字図書館の利用者は1775人を数え、前年度より14人の増であった。好評のサポートグッズフェアも例年同様、盲人用具センターと協力して開催した。点訳・音訳ボランティアの養成講習会を見送り、既存ボランティアのスキルアップを図った。

【点字出版所】

東京都知事の辞任と衆議院の解散で、12月16日のダブル選挙に点字出版所の職員の数人は数日帰宅することができないほどの忙しさであった。公示日に立候補者と政見原稿が揃わなく翌日によ

やく揃ったという大混乱にも振り回されたが、計画通りに納品できた。

この他、東京都など地方自治体からの定期広報点字版17紙を受託・発行した。点字教科書は中学部「歴史」の後期分を遅滞なく製作納品した。録音では地方自治体の定期広報テープ版7紙を受託した。また、衆議院総選挙では東京比例区などの「選挙のお知らせ（音声版）」を受託した。

経営的にも仕事のりにも厳しい1年であったが、職員の協力と努力によって黒字を計上することができた。

【第62回ヘレン・ケラー記念音楽コンクール】

24年度から新たに株式会社ナチュラルプラスが特別協賛になり、文科省、毎日新聞社などの後援を得て、11月10日に東京・文京区のトッパンホールで開催した。ピアノの部、弦楽器の部、独唱の部、重唱・合唱の部と新設された創作・編曲の部に全国から62名の児童・生徒・学生が出場した。最も感銘を与えた演奏に贈られるヘレン・ケラー賞は該当者がなかったが、川崎春香さん（新潟県立新潟盲・小3）に審査員特別賞が贈られた。

【視覚障害者ガイドヘルパー養成研修事業】

実技重視のカリキュラムと充実した講師陣による研修は評価が高く、キャンセル待ちが相次いだため、当初予定を1回追加し7回に、定員を32名から36名に増員するなどして応募者のニーズに応えた。主催研修6回と町田市社会福祉協議会との共催研修を1回実施し、198名が修了した。

平成25年度事業計画

【ヘレン・ケラー学院】

前年度以上の成績をあげるように受験対策に力を注ぐ。学生数の増加を図るために「詰め込み教育ではなく、実技・理論をじっくり学習することができる唯一の5年課程の学校」であることや、地下鉄西早稲田駅から徒歩2分などの立地条件の良さをPRし、きめ細かい募集活動をする。夏休み中に学院の耐震補強工事を実施する。

【点字図書館】

「行動する図書館」を目指し25年度を実質的な初年度とする。

当図書館の特色である東洋医学や三療の資料をさらに充実させるとともに、点訳ボランティア養成講習会、視覚障害者への点字・パソコン講習会、視覚障害者への理解を深めるための出前点字講座なども開催する。

【点字出版所】

6月の東京都議会議員選挙、7月の参議院議員選挙においては点字出版所の総力を挙げて取り組み、収益の増大を図る。点字印刷は地方自治体の「点字広報」「録音公報」「便利帳」などの受託印刷も前年度以上の受注を受けるべく努力する。

【第63回ヘレン・ケラー記念音楽コンクール】

視覚障害の児童・生徒・学生を対象とする日本で唯一の音楽コンクールである「ヘレン・ケラー記念音楽コンクール」を11月16日（土）に東京・文京区のトッパンホールで開催する。

【視覚障害者ガイドヘルパー養成研修事業】

ガイドヘルパー養成研修事業をさらに発展させ、受講希望者の要望に応えるため25年度は前年度より2回増やし、自主開催8回、町田市社会福祉協議会との共催を1回の都合9回実施する。

法人名 社会福祉法人 東京ヘレン・クラー協会
 会計単位名 社会福祉事業

貸借対照表

平成25年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
勘 定 科 目	当年度末	前年度末	増 減	勘 定 科 目	当年度末	前年度末	増 減
流 動 資 産	(105,569,298)	(113,116,192)	(△7,546,894)	流 動 負 債	(33,338,365)	(43,818,744)	(△10,480,379)
現 金 預 金	82,696,329	82,758,805	△62,476	短期運営資金借入金	247,697	1,427,079	△1,179,382
有 価 証 券				未 払 金	3,809,981	27,724,692	△23,914,711
未 収 金	15,370,987	16,838,323	△1,467,336	預 り 金	2,393,234	2,536,867	△143,633
貯 蔵 品	6,501,015	8,205,176	△1,704,161	前 受 金	8,203,440	10,732,006	△2,528,566
立 替 金				仮 受 金			
前 払 金	500,563	993,024	△492,461	賞 与 引 当 金	18,684,013	1,398,100	17,285,913
短 期 貸 付 金	213,188	4,012,161	△3,798,973	その他の流動負債			
仮 払 金							
その他の流動資産	287,216	308,703	△21,487				
固 定 資 産	(614,454,173)	(624,351,982)	(△9,897,809)	固 定 負 債	(62,081,000)	(62,525,000)	(△444,000)
基 本 財 産	(190,575,344)	(155,642,498)	(34,932,846)	設 備 資 金 借 入 金			
建 物	50,817,868	15,885,022	34,932,846	長 期 運 営 資 金 借 入 金			
土 地	99,757,476	99,757,476	0	退 職 給 与 引 当 金	62,081,000	62,525,000	△444,000
基本財産特定預金	40,000,000	40,000,000	0				
その他の固定資産	(423,878,829)	(468,709,484)	(△44,830,655)	負 債 の 部 合 計	95,419,365	106,343,744	△10,924,379
建 物	1	1	0	純 資 産 の 部			
構 築 物	108,695	135,493	△26,798	基 本 金	(12,267,350)	(12,267,350)	(0)
機 械 及 び 装 置	40,838,074	47,837,904	△6,999,830	国庫補助金等特別積立金	(38,399,474)	(36,992,787)	(1,406,687)
車 輛 運 搬 具				そ の 他 の 積 立 金	(318,638,615)	(332,464,915)	(△13,826,300)
器 具 及 び 備 品	1,365,495	2,350,881	△985,386	人 件 費 積 立 金	30,000,000	30,000,000	0
土 地				施 設 整 備 等 積 立 金	56,270,477	64,002,168	△7,731,691
建 設 仮 勘 定	0	22,377,338	△22,377,338	そ の 他 の 積 立 金	232,368,138	238,462,747	△6,094,609
権 利				次 期 繰 越 活 動 収 支 差 額	(255,298,667)	(249,399,378)	(5,899,289)
投 資 有 価 証 券				次 期 繰 越 活 動 収 支 差 額	255,298,667	249,399,378	5,899,289
長 期 貸 付 金				(うち当期活動収支差額)	(△7,927,011)	(△7,129,961)	(△797,050)
公 益 事 業 会 計 元 入 金							
収 益 事 業 会 計 元 入 金							
播 置 施 設 繰 越 特 定 預 金	3,500,000	2,500,000	1,000,000	純 資 産 の 部 合 計	624,604,106	631,124,430	△6,520,324
そ の 他 の 積 立 預 金	377,219,615	392,489,915	△15,270,300				
そ の 他 の 固 定 資 産	846,949	1,017,952	△171,003	負 債 ・ 純 資 産 合 計	720,023,471	737,468,174	△17,444,703
資 産 の 部 合 計	720,023,471	737,468,174	△17,444,703				
脚注							
1 減価償却費の累計額							
	283,237,798 円	272,626,517 円					
2 徴収不能引当金の額							
	0 円	8,634 円					

事業活動収支計算書

(自)平成24年4月1日(至)平成25年3月31日

法人名:社会福祉法人 東京ヘレン・ケラー協会

(単位:円)

勘定科目		本年度決算	前年度決算	増減	
事業活動収入	措置費収入	37,915,760	37,273,120	642,640	
	授業料収入	31,676,600	34,767,800	△ 3,091,200	
	事業収入	180,778,963	163,236,475	17,542,488	
	経常経費補助金収入	15,306,420	11,217,900	4,088,520	
	寄附金収入	8,445,322	5,934,587	2,510,735	
	雑収入	2,156,995	6,392,613	△ 4,235,618	
	引当金戻入	5,955,446	7,298,533	△ 1,343,087	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	5,467,488	5,466,590	898	
	事業活動収入計(1)		287,702,994	271,587,618	16,115,376
	事業活動支出	人件費支出	198,747,656	204,873,166	△ 6,125,510
事務費支出		26,229,360	22,695,764	3,533,596	
事業費支出		36,671,065	34,271,684	2,399,381	
減価償却費		12,630,269	12,340,624	289,645	
徴収不能額		0	0	0	
引当金繰入		23,157,390	6,173,521	16,983,869	
事業活動支出計(2)		297,435,740	280,354,759	17,080,981	
事業活動収支差額(3)=(1)-(2)		△ 9,732,746	△ 8,767,141	△ 965,605	
事業活動外収入	受取利息配当金収入	677,289	1,258,045	△ 580,756	
	会計単位間繰入金収入	4,392,474	2,694,867	1,697,607	
	経理区分間繰入金収入	4,894,609	3,850,663	1,043,946	
	事業活動外収入計(4)		9,964,372	7,803,575	2,160,797
	事業活動外支出	会計単位間繰入金支出	4,392,474	2,694,867	1,697,607
		経理区分間繰入金支出	4,894,609	3,850,663	1,043,946
資産評価損		0	0	0	
事業活動外支出計(5)		9,287,083	6,545,530	2,741,553	
事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)		677,289	1,258,045	△ 580,756	
経常収支差額(7)=(3)+(6)		△ 9,055,457	△ 7,509,096	△ 1,546,361	
特別収入	施設整備等補助金収入	6,623,000	9,352,000	△ 2,729,000	
	施設整備等寄附金収入	0	137,276	△ 137,276	
	固定資産売却益	0	0	0	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	0	8	△ 8	
	特別収入計(8)		6,623,000	9,489,284	△ 2,866,284
	特別支出	基本金組入額	0	0	0
固定資産売却損・処分損		0	12	△ 12	
国庫補助金等特別積立金積立額		6,623,000	9,352,000	△ 2,729,000	
特別支出計(9)		6,623,000	9,352,012	△ 2,729,012	
特別収支差額(10)=(8)-(9)		0	137,272	△ 137,272	
当期活動収支差額(11)=(7)+(10)		△ 9,055,457	△ 7,371,824	△ 1,683,633	
繰越活動収支差額の部	前期繰越活動収支差額(12)	261,535,371	257,065,317	4,470,054	
	当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)		252,479,914	249,693,493	2,786,421
	基本金取崩額(14)	0	0	0	
	基本金組入額(15)	0	0	0	
	その他の積立金取崩額(16)	15,326,300	13,341,878	1,984,422	
	その他の積立金積立額(17)	1,500,000	1,500,000	0	
次期繰越活動収支差額(18)=(13)+(14)-(15)+(16)-(17)		266,306,214	261,535,371	4,770,843	

資金収支計算書

(自)平成24年4月1日(至)平成25年3月31日

法人名:社会福祉法人 東京ヘレン・ケラー協会

(単位:円)

会計単位名:社会福祉事業

勘定科目		予算	決算	差異	備考	
経常活動による収入	措置費収入	37,916,000	37,915,760	240		
	授業料収入	0	0	0		
	事業収入	160,310,000	161,111,744	△ 801,744		
	経常経費補助金収入	368,000	3,694,820	△ 3,326,820		
	寄附金収入	5,315,000	5,309,716	5,284		
	雑収入	4,607,000	1,437,034	3,169,966		
	受取利息配当金収入	609,000	673,346	△ 64,346		
	会計単位間繰入金収入	2,686,000	2,692,474	△ 6,474		
	経理区分間繰入金収入	4,895,000	4,894,609	391		
	経常収入計(1)		216,706,000	217,729,503	△ 1,023,503	
支出	人件費支出	148,897,000	149,110,147	△ 213,147		
	事務費支出	22,950,000	22,938,395	11,605		
	事業費支出	23,567,000	24,226,113	△ 659,113		
	会計単位間繰入金支出	1,700,000	1,700,000	0		
	経理区分間繰入金支出	4,895,000	4,894,609	391		
経常支出計(2)		202,009,000	202,869,264	△ 860,264		
経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		14,697,000	14,860,239	△ 163,239		
施設整備等による収支	施設整備等補助金収入	6,235,000	6,235,000	0		
	施設整備等寄附金収入	0	0	0		
	固定資産売却収入	0	0	0		
	施設整備等収入計(4)		6,235,000	6,235,000	0	
	固定資産取得支出	15,155,000	15,154,775	225		
施設整備等支出計(5)		15,155,000	15,154,775	225		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 8,920,000	△ 8,919,775	△ 225		
財務活動による収支	借入金収入	0	0	0		
	積立預金取崩収入	19,467,000	19,466,300	700		
	その他の収入	0	0	0		
	財務収入計(7)		19,467,000	19,466,300	700	
	借入金元金償還金支出	0	0	0		
積立預金積立支出	5,196,000	5,196,000	0			
流動資産評価減等による資金減少額等	0	0	0			
財務支出計(8)		5,196,000	5,196,000	0		
財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		14,271,000	14,270,300	700		
予備費(10)		0	0	0		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		20,048,000	20,210,764	△ 162,764		
前期末支払資金残高(12)		70,704,182	70,704,182	0		
当期末支払資金残高(11)+(12)		90,752,182	90,914,946	△ 162,764		

皆様ありがとう

ございました

平成24年度

東京ヘレン・ケラー協会
賛助会員・一般寄付名簿

★賛助会員（敬称略）

【本部扱い】

加藤直之、参天製薬（株）

【ヘレン・ケラー学院扱い】

新井定一、伊藤久雄、牛窪多喜男、海老原隆、大岩妙子、大金三郎、小野塚耕吉、川上喜美子、木村修子、帰山良子、駒沢金平、小渡久美子、鈴木房江、鈴木八重子、須藤憲一、平光子、高山米子、中島政治、中村文孝、橋本三郎、早見尚三、町田克夫、矢作俊一、山崎登志夫、提橋トク、医療法人社団ケイ・クリニック滝沢光

【点字図書館扱い】

青木素子、秋山由美子、石原直美、磯崎治子、猪股栄二、内田一夫、大岩妙子、大江慎一、片山恭子、辛島寛、金倫子、小柳紀男、斎藤紀年夫、鈴木克己、鈴木健夫、鈴木由紀、須藤憲一、田沢芳行、田代芙美、田中秀臣・禮子、田中雄二、土居義則、長谷川あけみ、本間みさ子、前田律子、溝口和子、村上工、矢部萬寿子

★一般寄付（敬称略）

【本部扱い】

稲山輝機、井上朗、梅沢忠男、加藤直之、金谷紫之、草間昌保、栗田美保、作島哲夫、杉田安男、鈴木秀彦、須藤美津子、中村進一、長谷川航、平間しのぶ、堀田雅美、ヤマアヤ、山崎好是、ヤマタハナ、東京ヘレン・ケラー協会後援会、（株）ナチュラループラス、東京新宿北ライ

オンズクラブ、毎日新聞社事業本部、毎日新聞社点字毎日編集部、毎日新聞東京社会事業団

【ヘレン・ケラー学院扱い】

新井康代、五十嵐榮三郎、池津治、石田元治、伊藤勇、稲付修身、乾法行、植田員弘、上之菌誠二、江津正一、大澤孝一、大島千恵子、小栗誠夫、愛宕洋志、小幡亮、加瀬峯夫、菅聆子、金井定春、神田敏男、金原フミ子、楠啓一、黒沢絵美、小谷政夫、後藤充子、斎城信夫・美子、斎藤紀年夫、佐藤まどか、佐藤ミネ、菅田亜季、杉田安男、田中茂、玉住博、塚村文昭、徳田好美、中島憲一、根本陸朗、長谷川清、花村敦子、平原皓一郎、福井愛子、福井隆雄、福島義範、星野博子、三浦真人、矢作俊一、山口智永子、山崎登志夫、横山勝幸、毎日新聞東京社会事業団

【点字図書館扱い】

青木弘、秋葉文次、朝木けい子、石原直美、泉川英規、伊勢澤信吉、市角誠、市原政春、宇和野康弘、江良昭雄、大石文雄、小澤淑子、小澤洋平、加賀屋信一、笠井実、菊地寛子、木原正、木村映美子、経塚良未、小池輝勇、古池竹之、佐子田信夫、佐々木晴恵、清水奈美江、志村富雄、白川恵美子、鈴木正子、関喜之助、原田秀夫、高田房子、高橋敏朗、田島静枝、田代芙美、田中雄二、田村徳章、谷合淑二郎、谷口旭、寺崎哲治、戸倉昇、戸原武巳、中井一夫、南雲貞雄、西田健治、埜村政雄、橋本三郎、畑千尋、早川文治郎、早野健二、東山寛、福島ふさ子、福田恒男、藤田ひろ子、藤根輝男、古川雄、星野博子、松浦節子、松田千富美、丸山進弘、溝口和子、宮本美明、宮

本牧子、目黒聰子、森明彦、山内経、山田剛、山谷靖彦、茅野ライオンズクラブ、毎日新聞東京社会事業団

【点字出版所扱い】

三浦広美、矢野邦弘、エムコマース（株）

【海外盲人交流事業事務局扱い】

青木貞子、青山マリ子、在田一則、安藤生、石田隆雄、石原幸栄、一幡良利、今泉新治、岩屋芳夫、植竹清孝、上野伊律子、上村小夜子、遠藤利三、大橋東洋彦、大橋由昌、岡本好司、落合夕子、小野塚耕吉、貝元利江、勝山良三、加藤和広、加藤万利子、金田敏子、苺安達男、川島玉子、川尻哲夫、菊井維正、木塚泰弘、木村ちづ子、黒見恵美子、小泉周二、古賀副武、小島亮、後藤晴子、小長谷正夫、小林明子、小林動物病院、小森愛子、近藤光枝、斎藤惇生、酒井久江、坂口廣光、坂齊勝男、佐々木秀明、佐々木信、指田忠司、白井雅人、杉澤宏、鈴木洋子、須原ひとみ、染矢朝子、高橋恵子、田中徹二、田中正和、谷内正史、田村和凡、照井タカ子、当津順子、当山啓、中尾照美、長岡英司、中嶋千代志、中村保信、奈良泰夫、野津虎雄、橋本時代、花田重信、林春枝、林紘子、原田美男、福山博、藤井悦子、前山博、間下勉、増野幸子、松浦健三、松村太郎、御本正、宮下浩子、茂木幹央、森栄司、森山朝正、横大路俊久、吉田重子、米田昌徳、渡辺勇喜三、岐阜県立岐阜盲学校高等部生徒会、N T T東京福祉文化事業団、（有）大本印刷、（有）信和ハウス、（株）高垣商店、ネパール料理エベレストキッチン、毎日新聞東京社会事業団



点訳ボランティア 養成講習会



18人が 取り組む

点字図書館は、平成25年度点訳ボランティア養成講習会を6月4日からスタートした=写真。

点字図書館は点訳・音訳ボランティアの養成が義務づけられており、必要に応じて講習会を実施しているが、昨年は活動中のボランティアのスキルアップに重点をおいたため、今年は2年ぶりの開催となった。

今年の受講者はほとんどがホームページを通じて応募してきた18人。いずれも女性で、都内在住者が中心だ。

10月8日までの4カ月間全15回の講習で点字の基礎を学び、修了すると点字図書館所属の点訳ボランティアグループに分かれて、点訳本の制作に取り組む。

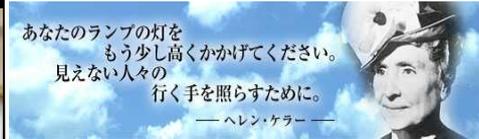
学院も耐震補強工事を実施

ヘレン・ケラー学院は夏休みを利用して耐震補強工事に取りかかる。学院は平成20年に実施した耐震度検査で規定値より低かったため工事が急がれていた。昨年度は点字出版所や点字図書館が入る新館が先行して耐震補強工事を行ったため、今年度を実施することにした。

施工業者は池田建設株式会社、監理業務は株式会社テクノリサーチを選定、いずれも新館工事を担当した実績を持つ。

補強工事は授業の妨げにならないように施工しなければならぬため、夏休み中でも補講を避けた時期に限定される。このため7月末から8月いっぱい1カ月強で竣工する過密スケジュールとなった。

本館1階から3階までの主な教室及び治療室が対象となっており、期間中事故が起きないよう万全の対策を取ることにしている。



社会福祉法人 東京ヘレン・ケラー協会

〒169-0072
東京都新宿区大久保3-14-20

本部、ヘレン・ケラー学院

電話 03(3200)0525

FAX 03(3200)0608

点字図書館

電話 03(3200)0987

FAX 03(3200)0982

点字出版所、盲人用具センター、 海外盲人交流事業事務局

東京都新宿区大久保3-14-4

電話 03(3200)1310

FAX 03(3200)2582

ホームページもご覧ください。
<http://www.thka.jp/>

協会定款を9年ぶり改定

東京ヘレン・ケラー協会は5月に開いた理事会に定款変更議案を提出、審議の結果承認された。今回の改定は平成16年以來だが、この間厚生労働省が示す「社会福祉法人定款準則」が改正されて

おり、昨年8月の東京都による指導検査の際に改定を指摘されていた。また社会福祉法人の所轄が今年度から東京都から新宿区に変わったこともあり、文言を修正、6月18日付で認可された。

人事・3月15日

▽点字出版所=<採用>丸山旅人(編集課員)、林育子(同)

同・5月31日

▽点字出版所=<退職>小川百合子(編集課員)